

# 【家庭教育支援チーム】

## (1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	酒田市家庭教育支援チーム (呼称:SR(Support for Relation)会 略称はSR会) URL: <a href="https://sr-kai.hatenablog.com/">https://sr-kai.hatenablog.com/</a>
②活動拠点	酒田市総合文化センター 泉学区コミュニティ防災センター 浜田学区コミュニティ防災センター
③活動範囲	酒田市内全域
④組織体制	5 人 (元教員 3 人 ・ 元医療従事者 1 人 ・ 介護福祉士 1 人 )
⑤活動開始年度	2019年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) SR会事務局:中里 小枝 (TEL)080-1816-3598 (E-mail) <a href="mailto:zap1113@beige.plala.or.jp">zap1113@beige.plala.or.jp</a>

## (2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への学びの場の提供 <input type="checkbox"/> 保護者等への地域の居場所づくり <input type="checkbox"/> アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) <input type="checkbox"/> 自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> 保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> その他(子どもの心の居場所づくり・教職員向けの研修会)
②活動対象 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(低学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(中学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(高学年) <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 高校生以上 の子供を持つ保護者に対する活動を実施 <input checked="" type="checkbox"/> 教職員並びに子ども支援に関わる人

<p><b>③活動内容</b></p>	<p>【具体的な活動内容】</p> <p>SR会の活動のねらいと目的は、      当会は、子どもの自立・自活を目指し、子育てについて気になることや不安に思っていることについて気軽に話すことができる環境づくりの提案活動を行うことを目的としている。障害や疾病ではないグレーゾーンにあり、不安を感じつつも声に出せない方たちの話し出すきっかけを作る場の提供と位置づけている。</p> <p>本活動を通じて、子育てに悩み、不安を抱える保護者・家族・関係者等に寄り添い、主に「傾聴活動」を展開することで、子育て応援の一助となると考える。</p> <p>① 2019 年度から活動を開始し、子育てのための講演会を 3～4 回/年 継続開催</p> <p>② 2023 年度から小・中学生を対象とした「子どもの心の居場所づくり」を開設し、4 回/年開催、2024 年度は 1 回/月の 12 回、さらに 2025 年度には、奇数月 1 回、偶数月 2 回に増やし活動している。子どもの心の居場所づくりには、東北公益文科大学生がスタッフとして参加、子どもたちとの距離感を埋め、良き話し相手、兄、姉の役割を担ってくれている。併せて個別相談会も同時開催し、相談員が時間をかけて傾聴対応している。</p> <p>③ 2024 年度からは、教諭、養護教諭、支援員等の学校関係者や、子ども支援に関わっている人たちを対象にした Teacher's Support Center (以下 TSC) 研修会を 2 回/年開催している。</p>
<p><b>④活動の成果</b>      (活動実績がある場合)</p>	<p>① これまで 2019 年 4 月の第 1 回から 26 回の講演会と 4 回の研修会を開催し参加人数はのべ 684 名に達した。(2026 年 1 月現在)      参加者は、リピーターも多いが、講演内容によっては新規参加者も増えている。</p> <p>② 2023 年 8 月に活動を開始した子どもの心の居場所づくりでの延べ参加人数は 117 名(2026 年 1 月現在)。      参加している子どもの変化として、異学年同士でも遊びや学習を通して教えあったり、お互いを思いやる気持ちが芽生えたりしている。また、回を重ねることで、参加者とスタッフの間に信頼関係が生まれ、自分のことや家族のことについても話す子が出てきた。      参加者の送迎の際、保護者との面談を行い、居場所づくりでの子どもの様子について報告している。また、保護者からは、家や学校での様子をお聞きしながら保護者の不安や悩みについて傾聴している。      参加者の中には、他の専門機関(放課後等デイサービス)にも繋がったケースもある。</p>

	<p>③ TSC 研修会には、教職員、学習支援員に加えて学童保育の職員や市の社会福祉士などの子どもに関わる支援者の参加が見られ、子どもへの対応に関する情報の共有ができるようになった。</p>
<p><b>⑤活動財源</b> (複数チェック可能)</p>	<p><input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(事業名: )</p> <p><input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(事業名: )</p> <p><input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名: )</p> <p><input type="checkbox"/> 地方公共団体単独事業として実施</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 ( )</p>